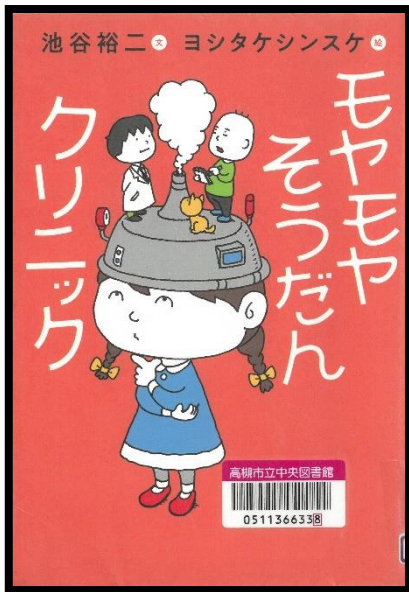


## モヤモヤそうだんクリニック



池谷 裕二 ヨシタケシンスケ/著  
NHK 出版 [491]

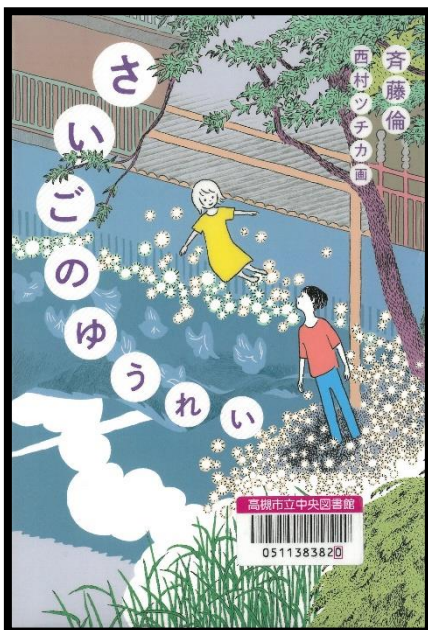
特集:こころ

イライラ、モヤモヤを解消<sup>かいしょう</sup>する方法はなかなかありません。

例えば「友だちの性格<sup>せいかく</sup>は直りますか」「心<sup>こころ</sup>って人間のどこにあるのですか」などは答えがみつからないものです。明確な答えがない、モヤモヤそうだんを脳研究者<sup>のうけんきゅうしゃ</sup>がやさしく、ときあかしていきます。また、ユーモアたっぷりのヨシタケシンスケさんのイラストに心が和<sup>なご</sup>みます。

最後に作者は、「モヤモヤすることは生きている証<sup>あかし</sup>」と答えています。

## さいごのゆうれい



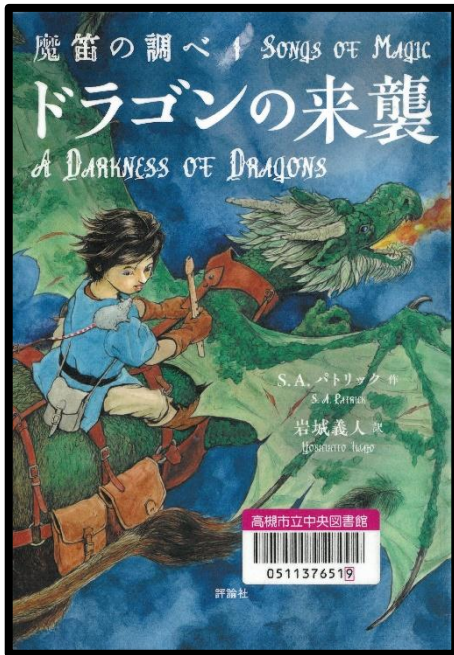
齊藤 倫/著 西村 ツチカ/画  
福音館書店[913サイ]

かなしみや苦しみを忘れられる薬がある。知らない間にだれもがその薬を口にしている、かなしみがなくなり、しあわせしか存在<sup>そんざい</sup>しない世界にハジメは生きている。

ハジメは田舎<sup>いなか</sup>のおばあちゃんの家で夏休みを過ごすことになった。そこで、小さな女の子のゆうれいネムに出会う。ネムと一緒にいる間に会った人たちが、忘れ去ったかなしみを取りもどすのを、目の当たりにしたハジメは、ある決心をする。

かなしみという感情がなければ、人はしあわせに生きられるのか、考えさせられる物語です。

まてき  
魔笛の調べ ドラゴンの来襲<sup>らいしゅう</sup>

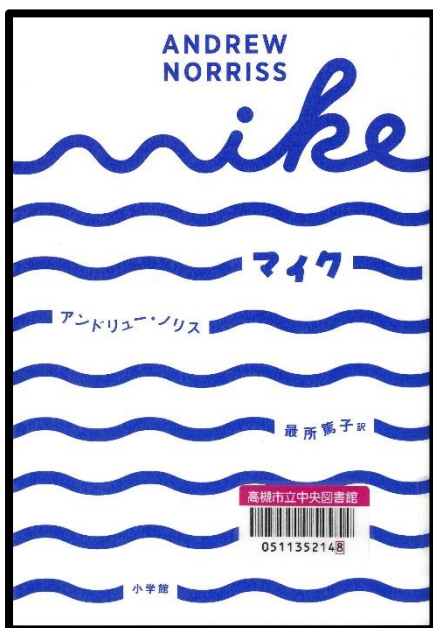


S・A パトリック/著 <sup>いわじょう よしひと</sup> 岩城 義人/訳  
評論社[933パト1]

13歳の少年パッチは、笛ふきの修行をしていたが、禁じられた曲をかなでた罪で地下牢に閉じこめられてしまう。しかし、反目するドラゴンの一団が襲撃してきたのに乗じて脱獄をはかる。パッチは、魔法でネズミにされた少女レンと、ドラゴンの母とグリフィンの父をもつバルヴァーとともに、追っ手からのがれる旅に出る。

この物語の世界では、人間の他にドラゴンや魔法使いが暮らし、笛ふき達が音楽の力を魔法のように使い、平和を守っています。ハーメルンの笛ふき男の話をもとにした冒険ファンタジーの1作目です。

マイク



アンドリュー・ノリス/著 <sup>まいしよ みちこ</sup> 最所 篤子/訳  
小学館[933ノリ]

幼い頃から毎日テニスの練習に励んできたフロイドは、ジュニアの大会で優勝し、みんなから期待されていました。その日も大きな大会の決勝戦で、試合を有利に進めていましたが、謎の男マイクに邪魔されます。しかし彼のすがたはフロイドにしか見えていないのです。

マイクが現れてから、フロイドは自分にとってテニスとは何なのかを考えるようになります。そしてマイクに導かれるように、自分の進むべき道を探していきます。

これは作者の体験をもとに書かれた真実の物語です。